

失敗に対する哲学

セス・ゴードンはコンサルタント、起業家、ビジネスブログの著者です。ある時彼は読者に対して、よくある質問を投げかけました。「もし、失敗したら?」。ゴードンはためらいもなく「失敗します」と答えます。それからさらに大切な質問を続けました。「失敗した後、あなたは何をしますか?」。

失敗は私達の人生に必ず起こるものです。すべての種が健康的な実を实らせるわけではありません。すべての決断が正しいというわけではありません。また、新しいことに挑戦することはいつも成功することではありません。例えば、ビジネスに関しても、新しい能力を得ようとしても、新しい製品を買おうとしてもです。しかし、失敗は成功するための必要なプロセスなのです。

ゴードンは言いました。「もし、あなたが正しく選んだならば、失敗した後、成功にもっと近づきます。あなたはもっと知恵と力を得て、挑戦さえもしない方に褒められることでしょう」また、失敗は私たちが望む成功とは違う道を示すこともあります。

トーマス・エジソンも同じです。彼は何百回もの失敗を繰り返したのちに、やっと白熱電球を発明しました。また、どの経営者でも、起業家でも、彼らが成功するまでには、たくさんの失敗や挫折、時には破産などを経験しています。成功するための一つの秘訣は挑戦し続けるということです。失敗を恐れて足を止めることはしません。

聖書の中にも成功するまでに多くの失敗を経験している人々が描かれています。例えば、旧約聖書では、いつも父親からの寵愛を受けているといつも自慢して、兄弟たちへの怒りを買っていたヨセフがいます。ヨセフは奴隷として売られ、不当に牢獄にいられたましたが、後に、エジプトの宰相となりました。そして、彼は後に来る大飢饉に備える計画をたて、エジプトのみならずイスラエルの民を含めた多くの人々を救いました。

新約聖書ではイエスの一番近い弟子だったペテロがいます。彼は三度もイエスを知らないと告白しました。しかし古代教会を立てあげるリーダーの一人となりました。また、使徒パウロもクリスチャンを迫害する者から、初代教会のもう一人の中心人物と変えられ、聖書の中のいくつもの書簡を残しました。聖書は失敗は絶体絶命ではなく、通過点の一つだと語っています。聖書が失敗に対してどのように取り扱っているか見ていきましょう：

チームを作りましょう。 失敗は一人で抱え込むよりも、チームで立ち向かう方が簡単です。

「ふたりはひとりよりもまざっている。ふたりが労苦すれば、良い報いがあるからだ。どちらかが倒れるとき、ひとりがその仲間を起こす。倒れても起こす者のいないひとりぼっちの人はかわいそうだ」伝道者の書 4:9-10

神様の力を信頼しましょう。 失敗は私達にどう神様を信頼し、神様の力と知恵に寄り頼んでいけばよいかを教えてください。

「疲れた者には力を与え、精力のない者には活気をつける。若者も疲れ、たゆみ、若い男もつまずき倒れる。しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れぬ」イザヤ 40:29-31

忍耐をもって挑戦し続けましょう。 思うように事が運ばないときに、失敗を乗り越えることをあきらめてしまうと、成功の喜びを味わうことができません。

「善を行なうのに飽いてはいけません。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることとなります」ガラテア 6:9

もっと深めるために：

1. あなたは「もし、失敗したら」と考えたことはありますか?その時にはいつもどんな答えを出していますか?
2. あなたの大きな失敗はなんですか?その時それはどのくらい影響がありましたか?今ではどうですか?
3. 幾つもの失敗を経験して成功した人のことを聞くと、あなたはどのように感じますか?それはあなたの励ましや力づけになりますか?それとも、彼らは特別であなたにはできないと思いますか?どうしてですか?
4. あなたは、失敗をきっかけにどうやってそれを切り抜けていきべきだと思いますか?信仰が失敗に対してどれくらい大切でしょうか?

参考聖書箇所リストです。参照ください：

箴言 16:3&9、19:21、20:24、27:1、第一コリント 15:57-58、ヘブル 11:1、11-12、24-27。

この発行はロバート・J・タマシによって書かれた物であり、月曜日のマナ®はCBMCより毎週発行しているメールマガジンであり「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の世界的働きで、利益を求めない活動ではなく、超教派で、1930年に創立され、各業界で働いている従業員、又、経営者へイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。©2019年-この発行の全ての権利はブラジルCBMC・日本CBMCにあります。